

リニア中央新幹線静岡工区有識者会議 関係者ヒアリング 島田市資料

令和4年10月7日

静岡県 島田市

目次

大井川流域市町と水利用について

島田市と大井川

島田市の環境特性

地下水

水資源や環境保全における懸念事項

- ・ 水量
- ・ 発生土
- ・ モニタリング
- ・ 不確実性への対応、リスク管理

大井川流域市町と水利用について



大井川の水は流域8市2町にて利用

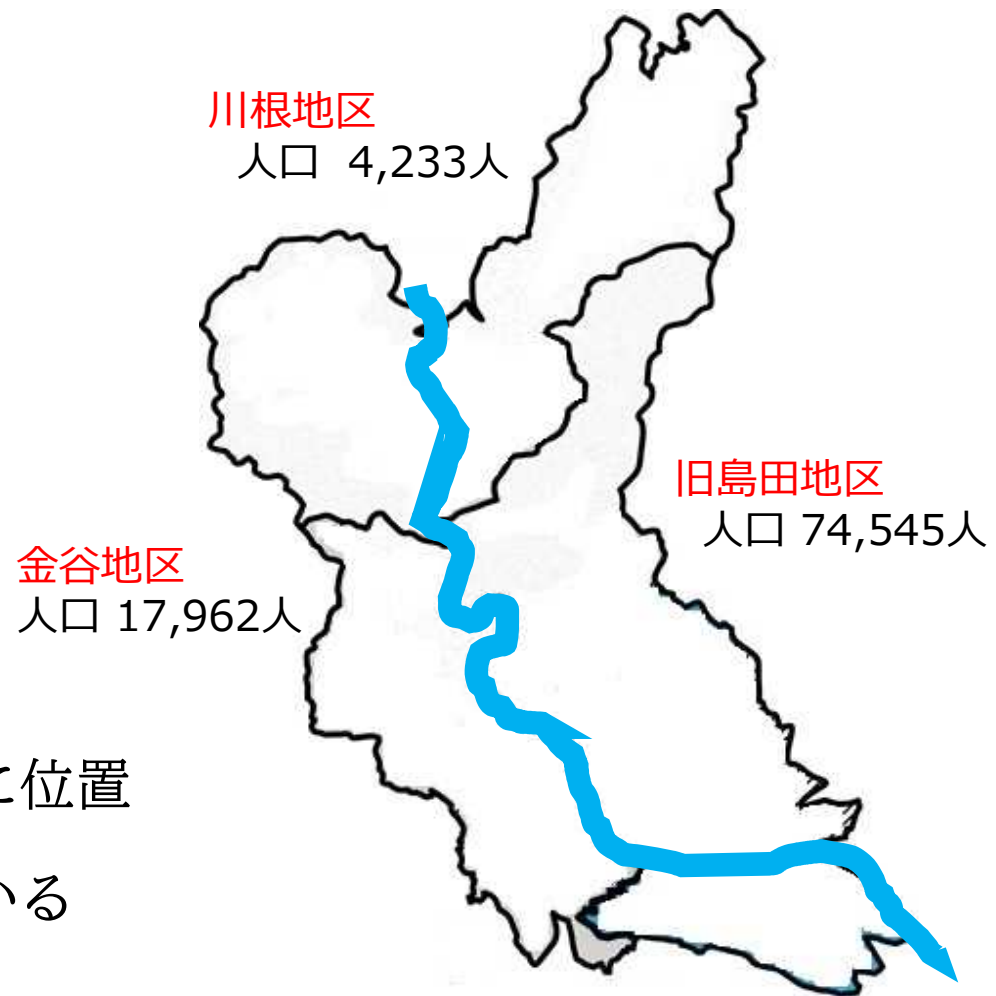
表流水	水道用水	流域人口約62万人
	農業用水	水田と茶園を主体に 12,000ha（灌漑される農地面積）
	工業用水	2件
	発電用水	発電用ダム15箇所
地下水	390の届出者が約1,000本の井戸を設置	

島田市と大井川

面積 315.70km²
(2/3が森林)

人口 96,740人
(R4.8.31現在)

島田市は大井川の中下流域に位置
市の中心を大井川が流れている



島田市と大井川



歌川広重「東海道川尽大井川の図」



島田宿大井川川越遺跡

- ・ 東海道五十三次の23番目の宿場町、島田宿（大井川左岸側）
- ・ 大井川の川越しにより人が集まり、まちが栄えた

島田市と大井川



大井川周辺に立地する工場



茶へのかん水
(牧之原畑地総合整備土地改良区HP)

- ・ 川の恵みにより人が集まり、産業が生まれた
- ・ 大井川はかけがえのないもので、生活に欠かせない存在

島田市と大井川



蓬萊橋897.4広場



大井川の釣り人
(大井川非出資漁業協同組合HP)

島田市は、飲用水、農業用水、工業用水といった水の利用
だけでなく、水に親しむ生活をおくるまち

島田市の環境特性

大井川中流域は「日本の重要湿地500」に選定
生物多様性の観点から重要度の高い湿地



島田市の環境特性

重要湿地に住む生物

川根地区の河原のような
特性のある場所で生きる生物



写真;環境省

ツマグロキチョウ
(絶滅危惧種 I B)



写真;岐阜大学

ミヤマシジミ
(絶滅危惧種 I B)



写真;環境省

コムラサキ
(他県レッドデータ)



写真;環境省

カワラバッタ
(他県レッドデータ)

地下水

大井川地域地下水利用対策協議会

- 大井川流域における用水の安定した供給をはかるため、
水源の保全かん養及び地下水の適正かつ合理的な利用を推進
- 会員390者(令和4年3月31日現在)
- 井戸の新設等の許可など
- 地下水の調査
 - ・毎年水位15箇所、塩水化37箇所
 - ・昨年度から湧水量調査8箇所

水資源や環境保全における懸念事項

- ・ 水量
- ・ 発生土
- ・ モニタリング
- ・ 不確実性への対応・リスク管理

水資源や環境保全における懸念事項

水量

議論の現状

- 有識者会議の中間報告
「JR東海の設備計画上は、現時点で想定されているトンネル湧水量であれば、工事期間中（そのうち、先進坑貫通までの約10ヶ月間）を除いて、導水路トンネル等によりトンネル湧水量の全量が大井川に戻すことが可能となることを確認」
- 静岡県地質構造・水資源専門部会で大井川の水資源について議論を継続

地域の声

- 地域住民は本当に水が減らないのか、また水が減ることで生態系への影響がないか不安に思っている
- 工事期間中の対応方法や安心できる説明が必要

水資源や環境保全における懸念事項

発生土

議論の現状

- ・ トンネル掘削による土砂や濁水、重金属等の流出
- ・ 発生土置き場の安全性
- ・ 要対策土の処理方法

地域の声

- ・ 上流部での水質の変化が地下水や表流水に与える影響がどの程度あるのか
- ・ 発生土置き場付近での土砂崩れに対する不安

水資源や環境保全における懸念事項

モニタリング

議論の現状

- ・ 現状（従前値）の把握
- ・ 結果について流域市町や利水者を含めた関係者との情報共有

地域の声

- ・ 時間を経て影響が表面化した場合に、適切に評価・対応できるようなモニタリングの実施
- ・ 適切なモニタリング位置の設定

水資源や環境保全における懸念事項

不確実性への対応・リスク管理

議論の現状

- ・ モニタリングデータとリスク管理の対比（管理値の設定）
- ・ 影響が出た場合の具体的な対応

地域の声

- ・ リスク回避の精度を上げるための議論
- ・ 不確実なことを想定した事前対策
- ・ 問題が発生した場合の立証方法の担保

まとめ

- ・ 大井川は、住民の生活と経済活動の根幹
- ・ 上流部の水資源や環境の保全は、流域一体の課題
- ・ 有識者会議では、現状の詳細把握や不確実性への専門的な議論を期待
- ・ 地域住民にとって分かりやすい説明